

### Ⅲ 地方債の状況

#### 1 県債発行の状況

(単位:億円)

区 分	令和2年度			令和元年度 9月現計 (D)	増減 (C)-(D)
	現計予算 (A)	9月補正 (B)	合計 (C)		
建設地方債①	870	2	872	864	8
臨時財政対策債等②	930	▲30	900	1,030	▲130
計(①+②)	1,800	▲28	1,772	1,894	▲122

○ 県債の発行額については、建設地方債が、高齢者福祉施設整備事業補助や港湾事業の増額などにより、約2億円の増となる一方で、臨時財政対策債が約30億円の減となることから、全体で約28億円の減額となっています。

#### 2 県債残高の状況

(単位:億円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (ア)	令和2年度 (イ)	増 減 (イ)-(ア)
建設地方債等①	13,864	13,443	13,163	13,012	▲151
建設地方債	13,079	12,700	12,457	12,348	▲109
退職手当債	785	743	706	664	▲42
臨時財政対策債等②	16,858	17,236	17,472	17,413	▲59
計(①+②)	30,722	30,679	30,635	30,425	▲210
(参考)満期一括償還 のための積立金残高	4,619	5,074	5,339	5,688	349

注1 満期一括償還分の積立金残高を控除した実質的な地方債残高

2 臨時財政対策債等：臨時財政対策債、減税補てん債、減収補てん債

3 平成30年度までは決算額、令和元年度は決算（見込み）、令和2年度は9月補正後見込み

- 令和2年度末の県債残高(満期一括償還分の積立金を除く実質残高)は、3兆425億円となる見込みです。
- 建設地方債等の残高については、過去に発行した建設地方債の償還が進むことにより、前年度と比べ151億円減少する見込みです。
- また、近年は、臨時財政対策債の新規発行額が減少していることから、臨時財政対策債等の残高についても、前年度と比べ59億円減少する見込みです。

